

ろ8,000円にしろとは言わないですけど、やはりタクシーが何とか過疎のほうに回ってくれるような、そういうのをやっぱりしっかりタクシー会社をお願いして、そういった分を少し補助、使わない分をそっちに補助していくとか、何らかの対策を今後考えていっていただきたいというふうに、特に今年は酷暑でね、大変暑い日が続いたので、体調崩してもいたと思うんで、その辺もぜひ検討を今後していただきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。

ここで、暫時休憩いたします。

再開を2時45分といたします。

〈午後2時32分 休憩〉

〈午後2時45分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。〔4番 新保峰孝君登壇〕

○4番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。

私は、産婦人科医師確保の取組、新型コロナウイルス感染症の対応、地球温暖化の影響、にぎわいの拠点施設についての4点について、米田市長及び蘆本教育長に質問したいと思います。

1、産婦人科医師確保の取組について。

(1) 令和5年（2023年）4月から糸魚川市内で出産できない状態が続いております。医師の働き方改革は必要ですが、妊婦の安全な出産を考えたとき、現状をどのように捉えているか。

(2) 全国的に見て新潟県は、医師数が少ない県となっているとのことです。新潟県地域医療構想はそれを前提に構成されており、糸魚川市の位置づけを産婦人科で見た場合、厚生連糸魚川総合病院での出産対応はしないで上越市の拠点病院に配置する考え方だと思いますが、どのようにお考えか。

(3) 高齢化と出生数減少が予想される厳しい状況であっても、市民が安心して暮らせるまちづくりが必要と考えます。そうした努力をしなければ人口減少に拍車をかけることになるのではないかと考えます。出産対応もそうした観点が必要ではないかと考えますが、いかがお考えか。

(4) 新潟県地域医療構想では、上越圏域の中心となる上越市の県立中央病院を核とした医療機関の分担が考えられているように思います。糸魚川保健所は残っていますが、このまま進め

ば糸魚川地域の医療体制が後退していくのではないか。

(5) 糸魚川市の地域医療を考えた場合、富山県との連携を今後も強化していかないと、医療体制が維持できないのではないか。

2、新型コロナウイルス感染症の対応について。

(1) 日本医師会の会長が連休明け並びに再度夏にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されると述べていましたが、そのように推移してきたように思います。これまでの感染状況をどのように捉えているか。

(2) 感染症法上の「2類相当」から「5類」に変更後、糸魚川市と関係者間の連携はどのようになされているか。

(3) 現状においても、祭りや大きな集まりにはコロナ感染に注意が必要と思いますが、どのように対応しているか。

(4) 今後の感染対策としては、どのように対応していくお考えか。

3、地球温暖化の影響について。

(1) 地球温暖化のたがが外れたような災害が続いています。徐々に温暖化が進む状態から急激に進む状態に悪化し、様々な大規模自然災害が起こっているように思います。生態系への影響も言われていますが、当市の一次産業への影響をどのように捉えているか。また、市民生活への影響はどうか。

(2) 農業の干ばつ被害と用水の確保についてはどのようになっているか。

(3) 林業に対する温暖化の影響はどうか。

(4) 漁業に対する温暖化の影響はどうか。

(5) 今年の夏はどの世帯も猛暑対策に苦労されたのではないかと思います。市としてどのように把握されていますか。

4、にぎわいの拠点施設について。

(1) 地球温暖化は、たがが外れてしまったと言われる状態です。今後、これまで以上の速度で温暖化が進むことになると思われます。温暖化の影響は、猛暑、山火事、南極の氷が減少していく等、様々な形で表れると思います。公共施設を建設する場合、これまで以上にどのような施設かを考えて場所や規模等を判断する必要があるのではないか。

(2) 駅北大火復興のシンボリック施設としてにぎわいの拠点施設が考えられてきましたが、まちづくりの観点から駅北をどうしたいのか、駅南も含めどうしたら糸魚川らしさを出すことができるか、都市計画に基づいて考える必要があると思いますが、いかがお考えか。

(3) 施設を考える場合、北陸新幹線糸魚川駅の北側と南側をどうするかという長期的な視点も必要なのではないか。

(4) 今後、北陸新幹線が京都・大阪まで整備され、大糸線の未電化区間が整備されるようになれば、信州方面との新たな展開も考えられるのではないか。先を見据えた対応が必要と考えるが、いかがお考えか。

以上、1回目の質問といたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

新保議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、糸魚川総合病院が中心となり、黒部市民病院との連携体制の構築など、安全・安心にサポートする環境が整っているものと捉えております。

2 点目につきましては、周産期医療を拠点病院に集約する方向であると捉えておりますが、当市の地理的要因を考えると、地域で出産できる体制の確保は必要であると考えております。

3 点目につきましては、持続可能なまちづくりに向けて、市民が安心して暮らせることが重要であり、引き続き取組を進めてまいります。

4 点目につきましては、救急や人工透析など、当市にとって必要な医療は確実に維持していく必要があります。安全・安心な医療体制が維持できるよう取り組んでまいります。

5 点目につきましては、引き続き新潟県、糸魚川総合病院と連携し、医師派遣の働きかけに努めてまいります。

2 番目の 1 点目につきましては、特に夏になって感染者が増えたものと捉えております。

2 点目につきましては、保健所や病院などと連携し、感染状況の把握と感染対策の周知に努めております。

3 点目につきましては、主催者や参加者に感染対策を呼びかけながら対応しております。

4 点目につきましては、必要な情報を周知してまいります。

3 番目の 1 点目につきましては、収穫量や漁獲量の減少などにより、一次産業就業者の所得の減少が懸念されます。

また、供給量の低下に伴う価格の高騰が市民生活に与える影響についても注視してまいります。

2 点目につきましては、渇水による立ち枯れ被害を確認しており、多くの圃場において、番水、反復利用等による対策を講じております。

3 点目につきましては、病虫害の活動域などの変化や自然災害による施業への影響が想定されません。

4 点目につきましては、漁場や漁期といった魚種の分布の変化が想定されております。

5 点目につきましては、民生委員や介護事業所と連携して、高齢者宅を訪問し、状況確認を行うとともに、熱中症への注意喚起をいたしました。

4 番目の 1 点目につきましては、様々な状況が考えられますが、市民が安心して利用できる施設となるよう努めてまいります。

2 点目と 3 点目につきましては、総合計画の安全に安心して住み続けられるまちづくりの実現に向けて、地域や関係団体と協議をしながら、施設整備を進めてまいります。

4 点目につきましては、実現は難しいものと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部課長からの答弁もありますので、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

最初に、にぎわいの拠点施設についてから伺いたいと思います。

これまで以上に、地球温暖化が加速しているように思います。新潟県の津波想定も、温暖化が加速することで、より高くなっていくことが考えられますが、どのようにお考えかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

津波の想定につきましては、平成31年に公表されたものとなっており、地球温暖化がその津波に影響するかどうかというところは、現在把握しておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

一般的には、未就学児対象の子育て支援施設と小学生対象の放課後児童館のような施設は、分離して運営されていると思います。心身の発達レベルが違うからであります。同じ場所に造るとすれば、分けて利用できるようにしないといけないのではないかと思います。それ以前に、想定される津波のことを考えれば、未就学児の施設をそのような場所に造ることはいかがなものかと思いません。現時点でどのようにお考えか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今の施設を計画してる辺りでは、31年3月のハザードマップでは、大体1メートル未満ぐらいの津波が、津波の場合には短時間で来ると言われております。高さ的には、ハザードマップにそのように示されております。これは、その先の運営にも関わることでありますので、一般的なことで申しますと、今、新保議員言われたように、小さいお子さんが利用するといったことを意識した避難行動とか避難誘導というのを、通常の避難訓練だけではなくて、小さい子供が複数人おるということを意識した避難行動、具体的には、上層階への避難とか、そういうのを訓練して、安全を確保するというのが、これから施設に対して求めていくことになると思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

委員会での議論を聞いていましたけども、その計画が、どんどん膨らんで、短期間のうちに多額の建設費が想定されるにぎわいの拠点施設というふうになってきておりました。建設することが先にありきの計画であれば、見直すべきではないかと思えます。何のための計画なのか、誰のための計画なのか。アンケートを見ると、市民意識とずれが出ているのではないかと思えます。改めて考えてみる必要があるのではないかと思えますけども、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

事業費が15億ということで、非常に大きな反響をいただいております。高過ぎる。それだけかけるくらいだったら、もっとやることがあるでしょうというような声も、パブリックコメントのほうにはたくさん寄せられました。

ただ、パブリックコメントの中でも一番多かったのが、その施設に対する期待ですとか、運営に対する期待というところも多くの方が寄せられているというのも事実です。これは、この再三申していますけど、駅北大火からの復興という部分と、市民の皆様のニーズ、地域の皆様のご利用、そういうのをいろいろ掛け合わせて、あそこの場所に施設を造る。皆様と打合せ、懇談をしていると、やはり図書スペースとかいろんなものがまだ欲しいよということで、最初の倉庫の跡地から、隣に取得した旧ビルまで、電力ビルまで広げて使うということで、その辺りで事業費のほうは、じわじわとではなくて、ある段階からガンと上がったような状況にあるというのが現状でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保護員。

○4番（新保峰孝君）

市民アンケートでは、意見はいろいろでしたけども、表現は違っても人口が減少し、子供も減っていく現実を見ながら考えたかどうかという、そういう意見が多かったように思います。思いもあるけれども、現実を見てということだと思えます。アンケートをどのように受け止められているか、いま一度お伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

人口が減少する。また子供も減っていくのではという中で、こういった施設の必要性について問われているのだというふうに捉えております。そういった中でも、子育てする環境というのが過去と異なってきておまして、以前は子供が多い中では、保護者同士の交流だったものが、盛んだったものが、現在ではなかなか行われなれないといった実態がございます。

そういった中で、子育ての孤立化、孤独化の防止であるとか、子育ての不安感、負担感といったものも、現在では増えているような状況がありまして、こちらのほうの施設を通じる中で、そういったものの解消といったものも図ってまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

もともとあったのは、やまのい保育園の子育て支援センターが、手狭になったのでということでありました。そういうことであれば、この前の一般質問のときは言わなかったんですけども、駅南の旧国鉄官舎を活用したらどうかと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ほど課長の答弁にもありましたように、駅北大火のときに、やはり復旧のみならず、復興というところもやはり視野に入れながら、その計画をつくることが大切という形の中で、官民連携でこのまちの課題を解決していこうという中で進めさせていただきました。そういう中で、このいろいろ民間の皆様方からもいろいろご提案いただきましたし、行政は行政の中で、今もしかしたら駅北の中で取り組める事業はあるのかという形の中で、最後に残っていたのが今の子育て施設ということでございますので、子育て施設ありきということではございません。そのように進めてきたわけでございますので、今そういったこの課題に対しての取組を行っているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

ちょうど駅の南側、反対側になるわけですが、その旧国鉄官舎の施設をかさ上げして改修すれば、十分使えると思いますし、駐車場横にというか山側に、駐車場になってるんですが、そこを2階部分、2階を造って、屋根を造って、その上の活用もできるというふうに思います。最初から全部新しい施設で15億円かけるよりも、そういうふうな今ある場所を考えて造ったほうが、ずっと安く施設ができると思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほどお答えさせていただいたとおり、今の子育て施設につきましては、そういった理由で今取り組んでおるわけでございますし、やはり駅南といいましょうか、アルプス口の状況というのは、

非常に今、空き家が目立ったり道路が狭かったり、いろいろやはりこの都市形態に問題があるわけ
でございまして、そういったところを考えたときに、一部分だけ取り組むということではなくて、全
体のまちづくりを、やはり市民の皆様、住民の皆様方と市民の皆様方と、そして今、この中央大通
り、いろいろ道路の交通体系が変わってきてるわけでございますので、そういったところも含めて、
面的な捉え方の中で、この計画をつくっていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

私は以前、少し言わせてもらったこともあるんですが、市民向けの施設と、そうでないほかから
来るお客さんのことも考えた施設があるんですが、駅北の今、いろいろ考えているあの場所では、
相馬御風さん関連で考えたかどうかというふうに思います。生家もありますし、全国の校歌、それ
から書、酒が好きな方だったそうですが、酒蔵が2つありますし、交友関係も活用させてもらって
構築したらどうかと思います。

こういうふうな、何ていうんでしょうかね、ちょっと先を見ながら、この糸魚川市いかに、それ
でもね、口の字形というふうなことで言われてましたけども、そういうところも、少しほかの市外
の方にもアピールするような、そういうことを考えてもいいんじゃないかと思いますが、いかがか
ですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

ふるさとの歌人、相馬御風先生につきましては、当然我々は、やはり検証していかなくちゃいけ
ないし、また、よそからおいでいただいた方に楽しんでいただいたり学習できる場というのが必要
だと思っております。それはそれで考えていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

私は、市外の方が新幹線なり駅を降りて、これはちょっと大火の前だったと思うんですが、何に
もない町だねというふうに言ってたというのを今でも覚えてます。私は、富山第一銀行までの口の
字、せめてそこのところの雰囲気、工事終わりました、これで終わりですということじゃなくて、
そこんところを市外の方が歩いてみようという気になる。そして、歩いたら、この地域、少し雰
囲気があるねというふうに、継続して取り組んでいくのが大事なんでないかと思うんですね。そう
いう点について、工事終わったんだけど、そういう楽しさを、市外からのお客さんが楽しさなり趣
を感じていただけるような、そういう工夫を継続して行っていくと。その一つの位置づけとして、
相馬御風さんなどを考えたかどうかと思うんですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

確かに、この駅北大火の復興計画で終わったわけではございません。その中にやはり回遊性のあるまちづくりをしていこうということで今、いろんな活動をさせていただいております。キターレを中心にしたり、そしてまた、今、ロの字の皆様方とやっぱりそういった方々と協議をしながら進めているのも事実でございますし、そういう中において、当然この計画、復興計画の中にございましたように、白馬通りから旧高野寫真館の、あの通りまでをその枠の中に入れておるわけでございます。やはり多くの方々においでいただいて、何も無いというような言い方をされる。それは、恐らくよその方ではなくて地元の方が言ってるんじゃないかなと思っております。やはり何も無いんじゃないくて、我々のところにはいろんなものが、資源があるわけでございますので、そういったものをやはりしっかりとおいでいただいた方に楽しんでいただけるように取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

市民の方がそういうふうに言ったわけじゃないんですね。市民はいつも通ってるから、これが普通だと思ってるわけですよ。市外の方が車を降りて、ちょっと名前も知らないような人だったという記憶があるんですが、ちょっと寂しいというふうな感じのことを言われたということで、そういうこともやっぱり市民も、行政マンも議会を、意識に置きながら、いろんなまちづくりというものを考えていく必要があるんじゃないかと、私はそのように思うわけです。引き続き、この件については、取り組んでいきたいと思います。

産婦人科医師確保の取組について、伺いたいと思います。

糸魚川市内で出産できない状態が続いておりますが、やむを得ないと思えるか、何とかしないとイケないと思えるか。現時点でどのようにお考えか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

身近な糸魚川市で出産できないということについては、妊婦さんにとって大きな不安の要素になるというふうに理解をしておりますし、これまでもいろんな機会でご説明してきましたように、糸魚川総合病院、あるいは県と協力をしながら、産婦人科医を確保し、そして、糸魚川総合病院の分娩再開に向けて、現在努力をしておるところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

新潟県の地域医療構想では、新潟県内の県立病院を統廃合して、拠点化すること。上越圏域においては、県立中央病院を中心に医療体制を再編成することが考えておられるようであります。医師が少ない地域となっている新潟県全体の医師を増やすことは、二の次になっているように見えます。糸魚川総合病院の医師も、これまでの富山県頼み、糸魚川市の医師確保の独自施策等の努力を上回るような、市がやっているような努力を上回るような、新潟県が汗をかく姿勢、これは、私は見えない状態であります。単なる再編成だけなら、出産対応は後退するだけではないかと思いますが、いかがお考えですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

新潟県も医師が不足しておるということに、大変懸念をしております。私の認識では、新潟県も医師を増やすことに、ここ数年大きな力を注いでいただいております。実際、糸魚川市と新潟県が協力をして、新潟大学、日本大学の医学生に融資をする。そして一定期間、糸魚川でお勤めをいただくという取組も、今年度から始まっております。そういうところからしますと、新潟県も、決して努力をしておらんとということじゃなくて、今力を注いでおるということでもあります。

それから、産婦人科については、単に集約するということではないというふうに理解をしております。リスクの高い出産・分娩については、やはり高度な医療機関で取り扱うことが必要ですが、リスクの低い出産・分娩については、できるだけ身近な、医療アクセスの問題もあるものですから、できるだけ身近なところで出産・分娩するような、そんな取組を、県は地域医療構想で描いておるものというふうに理解をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足してお答えいたしますが、新潟県の地域医療構想について、上越の医療構想につきましては、県立中央病院に拠点を置くというのにまだ決まったわけじゃございません。ようやく今動き始めておる状況でございます、白紙の状況で入っていると私は捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

私も県立中央病院が中心に、もう決まったよというふうな、そういう言い方はしておりません。いろいろとその会議に出ているところ、糸魚川の医療関係の代表の方もいろいろ意見を言われてるようでありますし、そういうふうに決まったっていうんじゃないけども、県が考えているのは、全県的に考えているのはそういうことでないかと。糸魚川市も同じようなことになるんでないかとい

うことを心配して言ったわけであります。

市民の安全・安心をどのように守っていくかというのは、自治体の大事な仕事であります。市や町で病院を設置している自治体もあります。令和4年6月1日現在の人口4万321人の黒部市も、その中に入っております。糸魚川市も大分お世話になっております。

参考までに、同時点の糸魚川市の人口は4万132人です。ほぼ同じ人口です。地方自治法第1条の2、地方公共団体の役割の中で、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとするがあります。医療は、県が担うことだからではなく、自主的、総合的に役割を果たさなければならないということだと思えます。どのように受け止めているか、市の立場でその考えを伺いたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

私も、そのように受け止めておるわけでございますので、地域医療に関しては、やはりもう一番この糸魚川市の中において、最重要課題と捉えております。そういう中で取り組んでおるわけでございますし、議員ご承知のとおり、ただ、だったら市立病院を造ればという形であるかもしれませんが、ただ病院を造るだけでは、やはり今の時代、医師不足の中で、医師が一番やはり今、大変な状況でありますし、看護師不足というのもあるわけであります。そういう中で、今、厚生連糸魚川総合病院と連携をさせていただきながら、取組をさせていただいておりますし、そして確かに、県もやはり糸魚川市は新潟県でございますので、県も力を入れていただいているのも事実であります。と言いながらも、やはりこの糸魚川市というのは、県の一番西端にあるわけでございますので、富山県と長い歴史があります。医療関係についても、そういった歴史の中で、今連携をさせていただいているわけでありますので、やはり私は、人口減少の中において、医療経営というのは非常に厳しい状況にありますし、医師不足、そして看護師不足という中で、この市民の安全・安心をどのように守っていくかというのは、今問われているところだろうと思っております。そういう中で、新潟県のやはり地域医療構想の中で、その安全・安心をしっかり保っていきたいと思っておる次第であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

以前、一般質問でしたか、どっかで紹介してもらいましたけども、医師に、お医者さんになられた方、糸魚川に来たらどうだと、うちの方に言われて、いや東京がいいというふうに言われた。何でかって聞いたら、給料が違うというのを前に言わせてもらったことがあると思えます。それはもう歴然とあるわけですね。ですから、そういうのも含めてどうするかということでないかなと。

医療の問題というのは、一般的な行政課題とは違って、市民の命に関わる、そういう問題だと思えます。医師の働き方改革は必要であります、全国的に見れば、医師が多い都府県と少ない県が

あるのも事実であります。糸魚川市出身の医師が、市外にいるかもしれませんし、これまで様々な手法を使って、探してこられた努力は分かりますけども、簡単に諦めるべきではないと思います。今後どのように取り組んでいかれるのか、お考えをお聞かせ願いたいと思います。出産関連のことです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

産婦人科医の確保ということで、答弁させていただきます。

これにつきましては、昨年の7月1日に、市も、糸魚川総合病院も同時に、この4月から分娩取扱いができなくなりますということを公表させていただいております。その以前から、糸魚川総合病院、それから新潟県と協力をしながら、ずっと産婦人科医を探してきております。いろんな就労条件等もお示しをしながら、全国に向かって発信をしておりますが、まだまだ確保の見通しは立っておりません。

ただ、糸魚川市にとって分娩の再開というのは必要でありますので、引き続き確保できるまで、医師を探して、確保していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

市民が安心して出産できるように産婦人科医師確保のための情報収集、そして手法、形態等を検討しながら、引き続き取り組んでいただきたいと思います。努力してるのは、分かります。見えませんが、ぜひ市民の立場で、何としてもそれは実現させるんだという立場で、頑張ってくださいと思います。

次に、新型コロナウイルス感染症対応について伺います。

全国の感染状況を見ますと、5月以降、感染者数が増え続けているように思います。糸魚川市内の状況をどのようにお考えでしょうか。単純に新潟県内の1医療機関当たりの感染者数21.84人で計算すると、66人ということになると思いますが、現状どのように捉えておられるか、お聞きしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

5月から全数把握でなくて、定点把握という把握の方法に変わってきております。県のほうでは1週間ごとにその数を公表しておるわけですが、5月、6月は比較的少ない数でありましたけども、7月、8月と、凸凹しながらですが、お盆に向けて上昇してきておるんでないかというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

なかなか難しいと思うんですが、この新型コロナウイルス感染症が、収束に向かって進んでるという、そういう状況でもないと思うんですよね。全国的な感染者数を見れば、ちょっと最近下がったところもありますけど、またそれ以上にちょっと上がってるという状況になってますから、油断をしないで押さえ込んでいくということが必要ではないかと思います。

5類移行のほう、これ県の保健所のほうで、ある程度まとめているわけですが、市としてどのように感染症数を見ながら、関係者間の連携を取りながら対応されてきたか、県のほうで、もう5類になったんで、市はそんなに一緒に仕事することはありませんよという感じなのか、その辺のところを聞かせていただけますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

以前のように保健所と頻繁にということではありませんけれども、必要に応じて保健所とも連絡を取っておりますし、またあるいは、糸魚川総合病院からこういう状況だという情報も入ってまいります。また、福祉関係施設で仮にクラスターが出た場合、そういう状況も入ってきておりますので、それぞれその必要に応じて対応してきたというところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

現状において、もう人が大勢集まるような場はやはり注意が必要だと思います。症状が出てない方でも感染してる人、若い人たちもいるようでありますので、非常に難しいと思いますけども、こういうふうな、いろんな行事も再開されてきている中で難しいとは思いますが、そういう感染を広めないという意味での広報とか取組、そういうものは、どのようにされて、工夫されているのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

基本的な周知については、ホームページ等で周知をさせていただいております。

また、人が集まるイベントだとか大会については、それぞれ主催者のほうで、それなりの配慮をいただいた上で開催をしておるというふうに理解をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

いろいろ話も聞きますので、ショートステイ、あるいは高齢者施設で集団感染した場合、影響が特に大きいと思いますし、亡くなる方も、あるいは出てくる可能性もあると思います。連携しながら対応していただきたいと思いますが、このような点については、どのように対応されているかお聞かせ願えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

5類に移行したとはいえ、菌の感染力が変わっているわけではありませんので、福祉施設においては、これまでどおり基本的な感染対策を継続しておりますし、また例えば一時期デイサービスの受入れを中止するといったような情報につきましては、福祉事務所のほうに情報を頂きまして、関係各所のほうにお知らせをしておるところです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

保育園や幼稚園、あるいは学校のように、集団で一定の空間に長時間一緒にいる環境の、そういう施設なり、そういう場所、そこはどのように感染を防ぐ努力をされているのか、どのように対応されているのか、伺いたしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

基本的な感染症対策といたしまして、手洗いの励行であるとか、また定期的に換気を行うなど、そういったことによりまして、感染症防止に努めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザとは違って、新しいタイプが次々と出てきて、収束には時間がかかるのではないかなというふうに思っております。科学的、合理的対応が必要ということだと思いますけども、市ができる今後の対応、取組について、いま一度、最後にお聞かせ願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

新型コロナウイルスとの闘いといいますか、それについては、これからもずっと続くんだろうというふうに考えております。オミクロン以外の変異株というのもまた出てきているようですし、それがどんどん、どんどん変わって、これからもずっと続くというふうに理解しております。市としては、情報の収集に努めながら、正しい周知啓発に努め、市民の皆さんから感染防止対策を取っていただくよう取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

次に、地球温暖化の影響に関連して、伺いたいと思います。

テレビの報道を見ておりますと、災害が大規模化していることが分かります。オーストラリア、ハワイ、カナダ、ロシア、日本でも九州北部等での線状降水帯による記録的豪雨と河川氾濫や土砂災害が起きております。地球温暖化がもたらした、たがが外れたような災害ではないかと思いますが、今後、さらにひどくなっていくことが予想されております。

糸魚川市は、今年は幸いにも大きな災害に遭わずに済んでいますが、地球温暖化に関連して伺いたいと思います。

市民生活への影響はどうか。電気代、水道代の負担増や熱中症での搬送等、市民生活への影響も大きいと思いますが、把握されているか。いたらその辺の状況も聞かせていただきたいと思います。年金暮らしの方も、出費が増えて大変だと思いますが、そういうところを把握されているか。低所得の方たちへの支援はどのようにされているか。その辺の状況を聞かせていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

先ほど市長の答弁にもありましたように、この猛暑が健康に一番影響されるとも思われる、特に高齢者の方につきまして、声かけ、見守りを強化しております。民生委員の方は、ふだん見守ってくださっているんですけども、介護事業所のケアマネジャーさんなども、この猛暑に対する注意喚起を行ってほしいというところをお願いしておりますし、また、市のほうでも、8月に2日間で、介護保険の利用のない80歳以上のおひとり暮らしの世帯の、791世帯ございましたが、こちらのほうに回らせていただきまして、状況のほうを確認させていただきました。3割はお留守でしたが、7割のお宅の方はいらっしゃいましたので、注意喚起のチラシをお渡しするとともに、エアコンの状況等も併せて確認をしてきたところです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

ほかの議員が質問された後なので、ちょっとやりにくいですが、農業への影響では、近年、米の品質、コシヒカリの1等米比率が下がっているのではないかと思います。新しい品種も開発されておりますけども、この温暖化の影響も、1等米比率が下がる大きな原因になってるんじゃないかと思っておりますけども、どのように考えて、どのような対応、対策が取られているか、お聞かせ願えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

地球温暖化が叫ばれてから、かなり年数もたつとるわけですが、稲作につきましても、国・県のほうで新たな品種の改良ということでやっておりますし、また、農家の皆様も、気象状況に合わせた肥料の散布時期、また植付けの時期、刈り時ということ絶えず研究しながら進めていただいておりますので、今後も気象情報を、今後これからの気象状況というものをよく研究いたしまして、どのような対策が打てるのか、また今後検討してまいりたいというふうに考えています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

高齢化も進んで、いろんな後継者の点とかいろんな点で難しい面もあると思います。頑張って取り組んでいただきたいと思います。

漁業への影響では、捕れる魚類、魚の種類が劣化してきているのではないかと思います。経営への影響というのはどのようになってるか、把握されておりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

市内の漁業組合等、問い合わせしますと、まだ温暖化に影響する、温暖化に係る大きな影響というのは出てないというふうに聞いておりますが、新聞等の報道を見ますと、全国的にはやはり今捕れているお魚、捕獲対象の魚種が北上しているということで、魚の種類が変わってきておることが発生しておりますので、今度は漁法等も、魚の種類が変われば漁法等の、いわゆる捕り方の違い等も出てきますので、今後そうした部分、漁師さんの生活、また今持っている機材とのミスマッチといたしますか、そうした部分の影響は出てくるかなというふうには考えています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

温暖化による林業への影響はどういうふうな状況か。

木材価格が低迷する中で大変だと思いますが、計画的森林整備は行われているのか。放置されている森林面積はどれくらいあるのか。その辺について伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

地球温暖化に影響されます糸魚川の林業の大きな影響というのは、今のところ出てきておりませんが、今後はやはり温暖化してくれば、林の持つ多面性という部分で、そこに住む生物の変化ですとか植物の変化というのは出てくると思います。

また、高温化しますと、先ほど議員のほうからもお話ございましたように、山地災害という、いわゆる山火事ですとか土砂崩壊等の災害等も起きてくるのかなというふうに考えております。糸魚川市内におきましても、森林整備計画に基づきまして整備を行っておりますが、なかなかやはり林地が多いということで計画どおり進んでいない、また、早く進んでいないという状況ございますけれども、今後、森林環境譲与税等、国のほうからの譲与税もございますので、そうしたものを利用いたしまして、森林の整備に力を入れていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

森林整備は、時間と費用がかかる上、大変だと思いますけれども、糸魚川市746平方キロメートルの86%が森林となっておりますので、森林環境整備の基金や補助金などを活用して、難しいんだと思いますが、若い方たちの理解を得ながら進めてほしいと思います。温暖化防止には、有効な産業だと思います。この点で、いかがですか、その若い方たち、次を、山を持つての方たちの次を担う、そういう人たちの理解というのは。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

市内には、森林組合をはじめ、各地に生産森林組合もございますが、やはり生産組合、地域に密

着した組合でございますが、こちらのほうは高齢化しております、なかなか担い手というのが確保できない状況が続いております。奴奈川森林組合につきましては、非常に今若い、担い手となる林業家の方が多く勤めていただいております、県外からも奴奈川森林組合に勤めていただいているということで、そうした方々が今後、糸魚川市の林業を担っていただけるというふうに期待しておりますし、またそういう人を増やせるよう、今後も奴奈川森林組合と協議しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

新保議員。

○4番（新保峰孝君）

以上で、一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を50分といたします。

〈午後3時42分 休憩〉

〈午後3時50分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。よろしくお願いいたします。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、健やか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、今夏の異常な高温現象等に伴う対策について。

8月に入ってから少雨だけでなく、高温が続いています。市内産業や市民生活に著しく影響が出るのが懸念されるが、その対策について伺います。

(1) 県内各地でも渇水による農業用水の不足が報道されているが、市内の状況はどうか。

(2) 農産物における高温に伴う病虫害の発生が懸念されるが、市内の状況はどうか。